コンパス薬局横浜西　スキルアップ勉強会

2020.07.16　加藤

第 148 回　『セレコキシブ「ニプロ」』

ニプロ:　君嶋　孝仁　様
参加者：加藤・山城・天野・照本・古市

【効能・効果】
下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛
関節リウマチ、　変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛

【用法用量】
◎関節リウマチ
　通常、成人にはセレコキシブとして１回 100～200 mgを１日２回、朝・夕食後に経口投与する。
◎変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎
　通常、成人にはセレコキシブとして１回 100 mgを１日２回、朝・夕食後に経口投与する。
◎手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛
　通常、成人にはセレコキシブとして初回のみ 400 mg、２回目以降は１回 200 mgとして１日２回経口投与する。
　なお、投与間隔は６時間以上あけること。
　頓用の場合は、初回のみ 400 mg、必要に応じて以降は 200 mgを６時間以上あけて経口投与する。
　ただし、１日２回までとする。

【特徴】
　ＣＯＸ-1 は多くの組織に常時発現しているがＣＯＸ-2 は炎症刺激により局所に誘導されＰＧを生成して炎症の発現に関与する。セレコキシブはＣＯＸ-2 を選択的に阻害することにより局所に生成されるＰＧを抑制し、抗炎症・鎮痛作用を示す。

〈薬価〉　ｾﾚｺｯｸｽ 100mg　69 円　　ｾﾚｺｯｸｽ 200mg　106.3 円
　　ｾﾚｺｷｼﾌﾞ 100mg　19.6 円　　ｾﾚｺｯｸｽ 200mg　30.2 円　錠剤への印字あり

【副作用】
　重大な副作用（頻度不明）
　⑴ショック、アナフィラキシー
　⑵消化性潰瘍、消化管出血、消化管穿孔
　⑶心筋梗塞、脳卒中
　⑷心不全、うっ血性心不全
　⑸肝不全、肝炎、肝機能障害、黄疸
　⑹再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症
　⑺急性腎障害、間質性腎炎
　⑻中毒性表皮壊死融解症（ＴＥＮ）、皮膚粘膜眼症候群（Ｓｔｅｖｅｎｓ-Ｊｏｈｎｓｏｎ症候群）、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症、剥脱性皮膚炎
　⑼間質性肺炎

【考察】
　セレコキシブは、痛みには適応あるが解熱作用はないためロキソプロフェンの方が適応が広く使いやすい。
　しかし COX-2 を選択的に選択するため胃粘膜障害が起きにくく胃弱には有用性がある。
　シートのデザインが先発と類似しており調剤時に注意必要だが、先発品と違って錠剤の印字があるため一包化での判別がしやすい。